

日時：2009年 9月26日(土) 18時30分～21時30分

場所：キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター

1. 山口県スキー連盟 会長・理事長挨拶

副会長：永井 健利

理事長：森本 栄一

2. 西日本ブロック協議会 秋季定例教育部会・指導員会合同会議(報告：堀本ブロック技術員)

【報告事項】(全日本関係全般事項：SAJ瀬尾理事)

新スキー教程の発刊(技术中心の内容でDVD付き10月発売予定)

・教程内容は、スキー板及びターン技術の進化に伴い、楽なスキーが技術求められている事に対応し、解り易い内容を考えている。また受検生(有資格・級別)全般に見てもらいたい

受検者のためには販売中止

指導者制度の変更

・指、準指導員以外にスキー専門指導員(H23以降)・スキー障害指導員等の設置

・パラレルターンまでを習得したならば、次にオフピステにおける新雪・不整地等いろいろな所を滑りたいとの指導要望が多い事に、対応を検討中

受検制度の変更

・クラウン取得者はB・C単位免除

・養成講習会40時間中、28時間は講習会受講、残り12時間は自主学習とする

・E単位の設定で、講習検定にてプルーク系の検定とし、指導員検定の3日前までにSAJに報告

・結果については合格発表時に発表

・A単位の種目変更で、大回り・小回り系の種目になる

・単位は4年間有効

・準指導員についても単位制の導入(A・B・C・D・E)

・受検制度変更に伴い規定の整備中

ジュニアテストの変更

・タイムだけではなく各級ごとに種目の追加

その他

・オフィシャルブックの改善

・新安全のシュプールについては発刊予定なし、変更部分のみオフィシャルブックに掲載

・教程の変わる年なので、資格者は出来るだけ研修会に参加していただきたい

【協議事項】

西日本強化合宿(ジャッチマン研修)について

・各府県の推薦枠は選手5名、ジャッチマン研修におけるブロック員推薦枠は2名

第30回西日本スキー技術選手権大会

・3審3採で行う。高速系種目のヘルメット着用のお願い

3. 各委員会報告

(1) 総務委員会・・・特に無し

(2) 企画委員会

芸北講習会は2月に変更

バッジテスト用パンフレットを作成（各講習会の概要を集約した物）

県連HPに掲載。ジュニア行事でのバス内で配布等、機会ある度に配布していく(企画で検討)

クラウン検定の要望が多い

・ブロック技術員3名揃えば可能。年末年始・2月大山で実施する方向で調整

(3) 指導委員会

指導者研修会の県外参加者は、従来より500円UPとする

県技術選

・土日開催。予選有(上位30名)。大会申込書は技選用を作成(SAJ登録No.を記入)

(4) 検定委員会

準指養成講習会は14日間を予定。合格者には相当額の支払いがある事を周知

(5) 技術委員会

県技術選手特別強化合宿

・日程は1/10(月)13時からに変更。参加料は1000円とする(事前振込)

西日本技選強化合宿

・今回より助成は無し。助成は全日本技選参加者のみとする

(6) ジュニア委員会

ジュニアスノースクールの春は中止し、年始に行う

年始は高校3年生まで参加可能とする(参加経験者のみ)

受付期間を従来より後ろにずらす事で参加者増を狙い、期間も延長(27日まで)とする

新型インフルエンザの状況によっては中止。判断基準・尺度を検討。基本的に実施する

(7) 安全対策委員会

3県合同パトロール検定会は島根主管

(8) 学校体育スキー委員会

晃英館中学校、桜ヶ丘高校スキー実習 2/5(金)に変更

学校スキー指導者講習会は中止

身障者スキー教室はボランティアであり予算は無し

(9) シニア委員会

芸北スキルアップスキーは昨年と同様

(10) スノーボード委員会

指導員研修会参加の対象者の把握が出来ていない

技選参加料は現金書留とする

練習会は昨年度4回企画したが、参加者少で中止が多かった。今期は2回

4. その他

各委員での予算は10月末までに島村教育部長まで提出の事

指導員研修会は島根県と合同開催。宿舍代は7500円/泊。リフト券にも割引あるよう交渉中

5. スキー山口編集作業

以上